

# 大宮

THE ŌMIYA HACHIMAN

令和4年(2022)

皇紀2682年

## 新型コロナ大禍 終熄退散祈願

令和4年 わかば祭り(春の大祭)号【第123号】

<http://www.ohmiya-hachimangu.or.jp/>

## 主な目次

宮司巻頭言	2頁
わかば祭り(春の大祭)のご案内	3頁
杜の話題	5頁
大宮八幡の杜 春から夏へ	8頁
第9回フォトコンテスト作品募集中	9頁
初宮詣芳名・どんぐり通信	10頁
わかば祭り社頭風景	12頁



第22回茶道裏千家献茶式(5月21日)

おんまわいせくじの 御齡自寿(九十九歳)とは思えぬ 夙鏝たるお姿でお献茶御奉仕の大宗匠

# 敷島の大和心を人間はば 朝日に匂ふ山桜花（本居宣長）

## 宮司 鎌田紀彦

今年例年並みに桜（染井吉野）が咲き始め、3月末に表参道第一鳥居より第二鳥居の間が見頃となりました。次々と境内の桜も咲き始め、今年は神門入り口の八重紅枝垂桜（御大典記念樹）も一際美しく、夜間のライトアップも格別でありました。



ところで、12月22日書画家の小林芙蓉師には社殿に於て第二回目の献書「光」を御揮毫いただきました。この「光」の一字をよく見ると「水」（ミ）にも「火」（カ）にも拝見出来ませぬので、将にカミの「光」で令和4年の新春を寿ぎ新型コロナ禍終熄退散を祈るのに相応しい書であり、元旦より内拝殿に掲出させて頂いております。（本号7

頁参照）第一回目の献書は平成27年8月1日（2015）で7年前になりました。このときは神楽殿で御揮毫賜りました。まず神職による修祓の後、言霊の「和良久」が前田比良聖師により更に清められ、石笛及び横笛奏者の横澤和也師により横笛が奏される中、当宮の「多摩清水社の水」も用いて「申」と「愛」の二幅を御揮毫になりました。翌年が平成28年丙申でありましたので、当宮には「申」の一字を御奉納頂きました。その時の写真を後日頂戴致しましたが、何と芙蓉師の周りには水蒸気状のものやオーブが漂いやがて昇り龍となつて立ち昇り、軒廂には龍の頭部の様に見えるものが写っているのです。「申」の一字にも玉（霊）が出ておりました。小林芙蓉書画家の著書『水のように生きる』の書中に、生きるつらさから解放され、あなたが幸せになる方法「我を捨てて、他人のために生きる」とで、本当の意味で癒やされる」とあります。又、当宮で揮毫の「愛」の書も写真入りで掲載されており、「愛とは思ひやり、慈愛。動物がもつていない、神の子たる人間だけがもつ唯一の心です。それを思い出し、実践することが、人間としてのつとめではないでしょうか」（著書40頁〜41頁）と述べ

ておられます。

その小林芙蓉師より今年の4月3日午前10時18分に水でつながらる芸術祭「万人の祈りの祭典」を行うので参加したいとの呼び掛けがありました。4月3日（日）は旧ひなまつりの日であり、10時は永久（いつまでも変わらないこと、とこしえ）、18分は弥栄（ますます栄えること）を意味します。この縁起の良い日に芙蓉師は能勢町流水堂「芙蓉堂」に午前10時より籠もられ般若心経を一同で奏上された後、時刻18分に御揮毫を始められました。YouTubeを観て当会場も「祈り合わせ」に移り、一同起立して神職先導のもとに唱和のことは「一、世界が平和でありますように」、日本が平和でありますように」を3回繰り返して奉唱し、宮司の玉串拝礼に合わせ参加者一同列拝致し、併せて新型コロナ禍終熄退散とウクライナ危機の収束をも祈念致しました。因みに参加者は大宮幼稚園を今年卒園の新一年生（59名）と保護者の計118名、一人一人のお宮奉仕団22名、当宮関係者5名の計145名でありました。



ラス毎に母と子の寄せ書きの花びらを貼った大きな桜の木3本が神門内北側のブルーボードに掲示してあります。尚、お母様方よりとても良い催しに参加させて頂いたと感謝されています。又、この会は百ヶ所100名の一人の祈りが海外にも拡がり、十万人の祈りが捧げられたとも伺いました。古来より春のお祭り・わかば祭り当日祭（尚武祭）は秋のお祭り・新嘗祭（しんじょうさい）と一対の祈年祭（きねんさい）でもあります。年は稲霊（こめたま）―奥津御年―を表し、五穀の豊穰を神々に祈り（祈年祭）、秋にはその収穫の品々で神々におもてなしをして感謝をするのが新嘗祭で、その時のお供え物を神々よりの賜り物（食べ物の語源）として戴いてきました。私共は神々と同じ物を戴くことによつて神々より更なる生命力（恩頼）を戴いてきたのです。併せて大宮八幡祭（秋の大祭）や新嘗祭が盛大に斎行されますようお祈りを致します。新型コロナウイルス大禍終熄退散祈願併せてウクライナ危機の一日も早い収束を願つてやみません。（令和4年4月12日記）



# わかば祭り(春の大祭)

境内の木々の緑が初夏の陽光に輝く季節となりました。当宮では、新型コロナウイルス感染症が予断を許さない中、感染症対策を徹底の上5月3日より5日まで**新型コロナウイルス大禍終熄退散祈願わかば祭り(春の大祭)**を厳粛に斎行致します。4月29日には昭和天皇のご聖徳をお讃え申し上げる**昭和祭**を斎行。春の大祭期間中は、まず3日に**第一日ノ儀**を斎行。4日、**第二日ノ儀**と午後には**植樹祭**が行われ、ご協賛の方に観葉植物が授与されます。5日には**当日祭(尚武祭)**が大祭式にて斎行され、皇室国家の安泰・弥栄、五穀豊穰、辞別にて新型コロナウイルス感染症終熄退散が祈念されます。大祭の奉祝行事として、4月29日に**弓道奉納射会**をはじめ、5月3日・4日には表参道にて春の風物詩**大宮八幡植木市**が開かれ、神門内では4月29日、5月3日〜5日に**みどりの会即売**が行われます。又、3日の午後には**江戸消防記念会第九区**により、かねてから募金が行われていた**新賽銭箱(三連結方式)の奉納奉告祭**並びに**除幕式**が執り行われ、奉祝行事として**木遣り**と**梯子乗り**が奉納されます。

## 大宮八幡植木市

表参道では大祭期間中の3日、4日に春の風物詩**大宮八幡植木市**が開催されます。色鮮やかな花々や新緑の苗木、園芸用品などが並べられます。



### 〜献木のお願いと観葉植物の授与〜

5月4日(みどりの日)は午後2時より**大宮八幡宮植樹祭(献木式)**が斎行されます。当宮みどりの会主催で第72回**全国植樹祭**(6月5日、滋賀県甲賀市にて開催)に因んで斎行され、各ご家庭にも緑を拡げようと**献木**のご協賛を頂いた方々には、**観葉植物**が授与されます。献木のご協賛は社頭にて承っております。

献木初穂料一口 二、〇〇〇円

※年間を通じて承っております。但し、観葉植物の授与は植樹祭にご協賛の方のみとさせていただきます。

### 毎月・お朔日参りを致しましょう

毎月1日 朔日祭  
毎月15日 月次祭  
毎月25日 大宮天神月次祭

ご自由にご参列下さい

新型コロナウイルス大禍終熄退散祈願  
**わかば祭り(春の大祭)**  
祭典と奉納神賑行事

### 祭典

昭和祭 4月29日

躑躅育木祭並びに皇月朔旦祭 5月1日

わかば祭り第一日ノ儀 5月3日

第42回稚児行列巡行 中止

わかば祭り第二日ノ儀 5月4日

大宮八幡宮植樹祭(献木式) 5月4日

(主催みどりの会)

わかば祭り当日祭(尚武祭) 5月5日

奉茶(裏千家)(淡)(東京第6東支部) 5月5日

わかば祭り終了奉告祭(直会乃儀) 5月5日

### 神賑行事

春の弓道奉納射会(門人のみ) 4月29日

古武道武技奉納 中止

佼成学園吹奏楽部奉納演奏 中止

第20回若葉inおみや 中止

第20回挙式者の集い 中止

杉並太鼓奉納演奏 中止

野点茶会 中止

(裏千家淡交会東京第6東支部)

方南エイサー踊り奉納 中止

雅太鼓奉納演奏 中止

奉納献燈提灯 4月29日〜5月22日

園児画展 4月29日〜5月22日

みどりの会即売 4月29日、5月3日〜5日

スカウトバザー 中止

大宮八幡植木市 5月3日・4日

露店 中止

江戸消防記念会第九区新賽銭箱奉納 5月3日

第22回茶道裏千家献茶式 5月21日

### 昭和祭斎行

昭和天皇のお誕生日にあたる、4月29日(昭和の日)午前10時より、**昭和祭**が中祭式にて厳肅に斎行されます。昭和天皇様は、御父君の大正帝の摂政宮を務められた後に、若くしてご即位され、戦前(16年間)、戦中(4年間)、戦後(43年間)の62年14日間と、明確な記録が残る歴代天皇の中で最も長く在位されました。我が国は、国民のたゆまぬ努力によって、戦後の焼け野原から立ち上がり見事に復興し、世界



※複数燈でも承ります

### 献燈提灯奉納のご案内

わかば祭りの期間中、皆様方のお名前(ご社名)を入れた献燈提灯を掲出致し、ご社頭を賑々しくお飾りさせて頂いております。つきましては、左記によりご献燈を賜りたくお願い申し上げます。

記

掲出期間 4月29日から5月22日まで  
初穂料 一燈一〇、〇〇〇円

※詳しくは社務所にお問い合わせ下さい。



第2位の経済大国にまで発展しましたが、その間には常に「国安かれ、民安かれ」と香淳皇后と共に国民を温かく見守られ、世界の平和を祈られる昭和天皇の尊い御姿がありました。昭和祭は昭和の日制定に伴い、平成19年から奉仕致し今回で16回目を迎えます。

### 江戸消防記念会第九区新賽銭箱奉納

春の大祭期間中の5月3日、江戸消防記念会第九区により新賽銭箱が奉納されます。まず午後2時、社殿にて奉納奉告祭を斎行。ついで賽銭箱の除幕式が行われ、江戸消防記念会第九区により木遣りと梯子乗りが奉祝行事として奉納されます。尚、奉納される新賽銭箱は連結式で3つに分割でき、コロナ禍対策の密を避けた形の参拝に役立てられます。



### 第22回裏千家献茶式

5月21日に、第22回裏千家献茶式が茶道裏千家今日庵鵬雲斎千玄室大宗匠(先代15代家元)のご奉仕にて斎行されます。宮司の祝詞奏上の後、お目出度い白寿(99歳)をお迎えの大宗匠のお手前にて濃茶と薄茶をご神前に献じられます。境内では裏千家淡交会東京第6西支部の奉賛により早朝より添釜茶会が催されます。また大宮幼稚園では園児茶席が開かれ、園児たちが緊張した面持ちで可愛らしく日頃のお稽古の成果を披露します。



### 春の大祭後の主な行事(予定)

- 御嶽榛名神社例祭 5月16日
- 第43回大宮さつき展 5月22日〜6月1日
- 神功皇后祭 6月3日
- 大祓詞書写会 6月18日〜26日
- 夏越の大祓・茅の輪くぐり 6月30日
- 第24回乞巧奠 7月1日〜15日
- 大宮八幡乞巧潜り 7月1日〜15日
- 七夕の神遊び(技芸上達祈願祭) 7月7日
- 雅楽の夕べ(雅楽と神楽舞) 7月2日・9日
- 第22回納涼大宮天神こども祭り書画行燈掲出 7月24日・25日
- 第22回杜のひびきinおみや(和太鼓演奏) 7月24日・25日
- 多摩清水社例祭(水神祭) 8月1日
- 第39回戦没者慰霊祭 8月15日
- 別当墓地秋季慰霊祭 9月23日
- 第22回十五夜の神遊び・月の音舞台 10月8日

### 毎月お朔日参りには 月代り御幣守護を!!

当宮では古くより朔日(二日)、十五日に月参りをされる方々が多く、こうした方々に年間を通じて八幡大神様のご神威をお受け頂こうと、毎月の朔旦祭に併せてお朔日参りのご祈願として「月参り大御幣振り神事」を奉仕して「月代り御幣守護」を授与しております。

月毎にお申し込みの場合は初穂料三、〇〇〇円、年間一括でお申し込みの場合は初穂料三〇、〇〇〇円にて斎行させて頂いております。



### 新春社頭往来

- 1月1日 立正佼成会会長 庭野 日鏡氏
- 立正佼成会主席 庭野 統弘氏
- 立正佼成会 庭野 皓司氏
- 立正佼成会理事長 國富 敬二氏
- 立正佼成会杉並教会会長 千葉 和男氏
- 一条家当主 一條 實昭氏
- 1月2日 保子氏 實綱氏
- 1月2日 弓馬術礼法小笠原教場 小笠原清忠氏
- 1月5日 日本フライダル文化振興協会専務理事 野田 兼義氏
- 1月6日 杉並税務署署長 荒井 聡氏
- 1月7日 高井戸警察署署長 西島 秀則氏
- 高井戸交通安全協会会長 飯田 勇一氏
- 1月14日 石原 伸晃氏
- 1月15日 日枝神社宮司 宮西 修治氏
- 1月26日 杉並消防署署長 岡田 一将氏

# 杜の話題

## 新春の表情

元旦の午前零時、宮司の打つ一番太鼓が境内に響きわたる令和4年の幕が開けました。神門が開かれると、新年を祝う参拝者で境内があふれかえりました。ご社殿では宮司奉仕による**新春厄除開運初大祈願祭(二番祈禱)**が斎行されました。



続いて午前2時30分には多摩清水社にて**若水**が汲まれ、ご神前にお供えされました。明けて午前7時、宮司以下祭員奉仕により**歳日祭**が斎行されました。又、午前10時に立正佼成会庭野日鏡会長、役員の方々が参拝され、今年一年の平安を祈られました。



2日は、小笠原流御宗家による恒例の**新春除魔神事「臺目の儀」と「大式的」**が奉納されました。3日には皇位の大元始

めを寿ぐ**元始祭**が午前9時より斎行されました。



## 表参道第二鳥居に新春を祝うライトアップ点灯

新しい春を迎えるにあたり、表参道第二鳥居を赤と緑を基調としたライトアップを行い、新年を寿ぎました。併せて、新型コロナウイルス感染症と闘う医療従事者への感謝と応援の気持ちを込めて、第二鳥居前の石灯籠を青くライ



トアップしました。新型コロナウイルス禍が一向に終熄しない状況の中、少しでも医療従事者の負担が減り、一日も早く終熄するようお願いを込めました。

## とんど焼き斎行

小正月の恒例の行事である**とんど焼き(古神矢・古神札等焼納祭)**が、1月15日に斎行されました。ご社殿にて**月次祭並古神矢・古神札等焼納奉告祭**斎行の後、境内の斎場で**古神矢・古神札等焼納祭**を斎行。祝詞奏上後の**火鑽**神事では御火鑽具を用いて浄火が熾



されました。神職・参列員らが大祓詞を奏上する中、古神矢・古神札、正月飾りが焚き上げられ、感謝と除災を祈りました。

## 初天神大祭

1月25日、大宮天満宮の**初天神大祭**が斎行されました。年初の天神祭は丁度受験のシーズンでもあり、受験生をもつ親御さんたちが参列され学業成就を祈願しました。



## 文化財防火デー消防訓練

昭和24年1月26日、奈良・法隆寺の金堂より出火した火災は、国宝の十二面壁画を焼失してしまいました。火事による貴重な文化財の消失を防ぐため、この日は**文化財防火デー**に制定され、当宮では、杉並消防署のご指導のもと、毎年**消防訓練**を行っています。午前10時半、社殿より出火との想定で訓練を開始。通報連絡、避難誘導、初期消火に続いて**一日消防署長に任命された当宮司の指揮**のもと、杉並消防署杉並消防団第2分団、当宮自衛消防隊により、ご社殿の屋根へ向かって**一斉放水**が行われました。地元大宮2丁目自治会の皆さんにもご参加頂き地域の防災意識を高めました。又、一日消防署長を務めた



宮司に杉並消防署長より感謝状が授与されました。

## 節分祭 一年の邪気を祓う

季節の変わり目である立春・立夏・立秋・立冬の前日を節分といい、年4回のうちの特に立春前日の節分には、1年の邪気を祓う重要な神事が行われてきました。当宮では、午前10時より**節分祭**を斎行。祝詞奏上の際に桃の弓・葦の矢で「天・地・人」の魔を射る**追儺の除魔神事**を奉仕。ついで外拝殿張り出しにて**鳴弦の儀**が宮司奉仕により行われました。次に社殿前にて、当宮幼稚園の園児たちも参加して**豆撒き神事**を行い、ご参拝の皆様も参加しました。



より行われました。次に社殿前にて、当宮幼稚園の園児たちも参加して**豆撒き神事**を行い、ご参拝の皆様も参加しました。

## 南参道交差点 表示変更

これまで「永福図書館入口」と表示されていた南参道入口の交差点が永福図書館の西永福駅前への移転に伴い、「大宮八幡南口」との表示に切り替えられました。これまでより、当宮ご参拝の方にわかりやすい表示となりました。



### 大宮稲荷神社初午大祭



大宮稲荷神社の初午大祭が本年は2月10日に斎行され、雪が降りしきる中ではありましたが多くの初午幟奉納者にご参列頂きました。ご奉納頂いた240基の朱色の初午幟はためく中、宮司以下祭員により斎行致しました。当神社には姉妹友好神社の竹駒神社(宮城県岩沼市鎮座)も祀られ、同社の初午大祭は旧暦で斎行され(本年は3月10日)、陸奥に春を告げる祭典とされています。

### 紀元祭並檀原神宮選擇



2月11日は紀元節。初代神武天皇様が檀原の宮にご即位され、我が国が建国された記念の日です。午前10時、まず社殿にて紀元祭を斎行。ついで清涼殿の特設齋場にて檀原神宮を選擇。「紀元節」の歌を声高らかに斉唱し、聖寿萬歳を三唱。皇紀2682年をお祝いしました。

### 天長祭

2月23日、天長祭が中祭式にて宮司以下祭員奉仕により厳肅に斎行されました。引き続き清涼殿特設会場にて皇居遙拝を齋行し、聖寿の萬歳を三唱。天皇陛下のお誕生日をお祝いし、ご長寿並びに国の弥栄を祈念致しました。

### 泉南睦会神輿修理完了清祓



泉南睦会では神輿の修理を行なっていました。2月23日午後1時、会長の鈴木責任役員を始め泉南睦会の皆様の参列のもと、社殿前にて神輿修理完了清祓式が斎行されました。続いて修理完了を祝い、神輿の担ぎ初めを神門内で行いました。コロナウイルス感染症が終熄し、神輿の合同宮入りが斎行できる日が待ち遠しく感じられる光景でした。

### 梅花祭

2月25日は天満宮の御祭神である菅原道真公の御神忌(御命日)にあたり、梅の花をこよなく愛でられた道



### 岸ユキ様来社

3月7日、毎年初午大祭に幟をご奉納頂いている岸ユキ様が来宮、正式参拝をお受けになりました。その後、大宮稲荷神社にて奉納頂いた幟をご覧になり、宮司と記念撮影を致しました。



### TBSテレビ火曜ドラマ『フアイトソング』撮影



令和4年1月11日から3月15日まで放映されたTBSドラマ『フアイトソング』の撮影が3月2日に当宮神門内にて行われました。主演の木皿花枝役の清原果耶さんと夏川慎吾役の菊池風磨さんが演じた今回の撮影シーンは3月8日の第9話にて放映されました。

### フラワーアーティスト KAORUKO様来社

3月13日にフラワーアーティストのKAORUKO様が来宮し、正式参

拝されました。KAORUKO様は参拝の翌日から外務省の依頼によりドバイ万博日本館へ赴くため、その奉告と渡航安全を祈願されました。

### 東日本大震災復興祈願

「私どもは3・11を忘れません」3月11日、当日の朝御饗祭では、復興祈願の祝詞を奏上し、大祓詞3巻を奉唱しました。また、地震発生時刻の午後2時46分にはご参拝の皆様にも呼びかけて、犠牲となられた方々へ1分間の黙禱を社殿前にて捧げました。



### 別当墓地春季慰霊祭

当宮の別当寺であった大宮寺の歴代別当職、歴代の中野神主及び歴代宮司神職の御霊をお祀りする別当墓地春季慰霊祭が、3月21日に斎行され、宮司が拝礼しました。



### 大宮八幡桜まつり開催

3月26日から4月3日にわたって桜まつりが開催されました。神楽殿前のベンチに緋毛氈が掛けられ朱傘を

設置。当宮境内より和田堀公園内の善福寺川沿いには約700本の桜があり、時季になると一斉に開花して春を彩ります。期間中の土・日は午後8時まで開門。和田堀公園



### りんどう会だより

1月15日、とんど焼き神事(古神矢・古神札焼納祭)に併せ、恒

例の厄よげせんざいの授与奉仕を行いました。今年一年の無病息災を願い、とんど焼きのご神火で作られたぜんざいを、多くの参詣の方々に召し上がり頂きました。

また、4月23日には、春の大祭に向けて、御垣内清掃奉仕が行われました。

大宮八幡宮敬神婦人会(りんどう会)では、随時会員を募集しています。お気軽に事務局(社務所)へお申し込み下さい。



への往来も自由になり、参道、境内にはかがり火が焚かれました。

### 勸学祭・ランドセルお祓い式

小学校入学を祝いお子様の成長を祈念する勸学祭・ランドセルお祓い式が、3月26日・27日に執り行われました。保護者に連れられて大きなランドセルを背負った新生年生たちが、緊張と期待の入り交じった面持ちで祭典に参列しました。



### 小林芙蓉師「光」の一字 揮毫軸一幅奉納

書画を通じて国際親善で多くの国々を巡り、「日本の祈りの心」を広め伝える書画家小林芙蓉師が、令和3年12月22日、「光」の一字を揮毫奉納されました。衆議院議員の下村博文様をはじめ、約140名のご参列のもと社殿内にて奉納奉告祭を斎行しました。祝詞奏上の後、

横笛奏者の横澤和也師の笛の音に合わせ、大筆により渾身の力をこめて白掛軸に「光」の一字が揮毫されました。この「光」の掛け軸は、正月よ



### 水でつながる芸術祭 — 一万人の祈りの祭典 —

4月3日、書画家小林芙蓉師が発起人となり世界の平和と繁栄を祈る芸術祭典「水でつながる芸術祭 — 一万人の祈りの祭典 —」が行われました。当日は午前10時18分の小林師の揮毫に合わせ、参加各会場でそれぞれの形で「祈り合わせ」をしました。大宮幼稚園卒園の新生59名も清涼殿2階の「祈り合わせ」の齋場に参加し、その後幼稚園に戻り、ハガキ作りや寄せ書きの形式で筆ペンを使用して字を書きました。また一万人のお宮奉仕団22名も清涼殿での「祈り合わせ」に参加し、その後境内を掃き清めました。

9月	8月	7月	6月	5月
6日(火)	1日(月)	8日(金)	2日(木)	9日(月)
18日(日)	13日(土)	20日(水)	14日(火)	21日(土)
30日(金)	25日(木)		26日(日)	

### 戌いぬの日早見表 (令和4年5月~9月)



戌の日詣りは 子育八幡さまの当宮で 安産祈願祭を！

※戌の日以外でも随時お受けしております

ご祈願の方には大宮八幡息長帯(安産腹帯)と共に、へその緒で結ばれたお母様とお子様健康にご出産の時を迎えられますようにと願いが込められた「母子緒守」「安産御守」「安産祈願絵馬」を特別に授与しております。

大宮八幡息長帯

# 大宮八幡の杜 春から夏へ

## 大宮八幡宮氏子青年会 創立十周年記念大会

氏子6地区の若睦又は町会の若手有志を中心に平成24年2月26日に結成された大宮八幡宮氏子青年会が今年で10周年を迎えるにあたり、5月29日に大宮八幡宮氏子青年会創立十周年記念大会が開催されます。まず清涼殿にて記念式典が行われた後、社殿にて開催奉告祭を斎行。ついで記念写真撮影、祝賀懇親会が開かれる予定です。

## 神功皇后祭

令和元年は、ご祭神神功皇后様が摂政69年(269)、陰暦の4月17日に御歳百歳で神上がりましてより1750年の式年にあたり、その年の皇紀929年の月日を太陽暦に換算した6月3日、神功皇后千七百五十年式年大祭を斎行しました。翌年より、まず御陵の狭城盾列池上陵(奈良県)を遙拝し、神功皇后祭を斎行致しております。神功皇后様は、息長帯比売命と申し上げ、主祭神応神天皇の母君であり、この事から聖母大神とも讃えられています。安産子育ての神として厚い崇敬を集め、戌の日には多くの安産祈願を受けられる参拝者で賑わいます。



## 大祓詞浄書(水無月書写会)

大宮八幡塾「水無月書写会」では夏越の大祓に併せて、りんどう会と共催で6月18日から26日まで大祓詞書写会を開催致します。期間中は午前9時半〜午後3時半まで茶室「神泉亭」にて随時受付しており、約900字の「大祓詞」を書写して大神様のご神徳を戴きます。尚、浄書された大祓詞は大祓に引き続いて行われる奉納奉告祈願祭にて神前に納められます。



## 水無月 夏越の大祓

6月30日、午後4時より夏越の大祓が斎行されます。大祓の歴史は古く平安時代の儀式書である『延喜式』にも記されており、6月と12月の晦日に行われ、知らず知らずのうちに犯した罪や穢れを祓い清める神事です。新型



## 書画行燈の募集

納涼大宮天神こどもまつりにあたり、「書・画」の作品を募集します。奉納された書や画は、行燈に貼って灯りを点し、7月24日の夕刻より大宮天神祭の



献灯としてご社殿前に掲出されます。書または水彩画は指定の用紙を、必ず横長に使用してご奉納(応募)いただいております。  
(※用紙は社務所にあります「無料」)

コロナウイルス感染症対策のため、一般の方々は分散型により6月27日から事前受付を行います(30日午後3時まで)。罪や穢れを移した形代を唐櫃に納めた後に神職のお祓いを受け、茅の輪・笹の輪を潜り、大祓神事を行って頂けるように致しました。尚、当日午後4時の祭事は神職と神社役員のみにて執り行います。  
「水無月の夏越しの祓する人は千歳の命延ぶというなり」



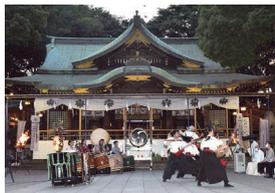
## 平安の雅び第24回乞巧奠と 平成の七夕大宮八幡乞巧祭り

7月1日から15日まで、第24回平安の七夕乞巧奠が開催されます。清涼殿ロビーにて乞巧奠を再現展示します。技芸上達を願う乞巧奠は、古く平安の世より宮中を中心に広く行われた行事であり、今日でも冷泉家にて行われております。又、神門前には梶の葉や五色



## 第22回納涼大宮天神こどもまつり 杜のひびきin おおみや

7月24日と25日の両日にわたり、第22回納涼大宮天神こどもまつりが行われます。24日は午後5時より大宮幼稚園園児、近隣の小中学生、崇敬者の方々からご奉納頂いた多数の書画行燈の献灯式が行われ、幻想的な雰囲気の中、宵宮祭を斎行致します。翌25日は午後5時より大宮天神こどもまつりが斎行され、午後6時半より杜のひびきin おおみや(時間をはずした日の祭事)が開演されます。和太鼓奏者の響道宴氏による新型コロナ禍の熄滅を祈念した勇壮な和太鼓の演奏が奉納されます。



## 国旗のある自由画 コンクール入選作品展

6月中旬より7月下旬まで、(社)国旗協会主催の国旗のある自由画コンクール入選作品展が、神門内北側翼廊ブルーボードに展示されます。4歳児から小学6年生までの園児・児童が描いた子どもらし



く素直な画風の金賞・銀賞の入選作品が展示されます。本年は当宮幼稚園児長沼陽琉さんが銀賞に入選されました。

### 多摩清水社例祭



8月1日は葉月朔旦祭に引き続き御神水の湧き出る多摩清水社の例祭が斎行されます。水の大切な盛夏の

時期に、水神様の御神徳を讃え水の恵みに感謝の誠を捧げるお祭りです。多摩清水社の鳥居の横には、阿波野青歌の「広き野に霊の清水のあるところ」と詠まれた句碑があります。

### 第39回戦没者慰霊祭

8月15日、第39回戦没者慰霊祭が斎行されます。当宮及び兼務社の氏子地域より出征された戦没者の英霊たちに感謝と追悼の誠を捧げ、世界平和を祈念します。



### 大宮八幡祭り(秋の大祭)

#### 祭典日程のお知らせ(予定)

本年度の大宮八幡祭り(秋の大祭)は左記の日程により斎行されます。

\*例祭は9月15日(木)に斎行する

\*神輿神霊入れ祭・若宮八幡神社並

白幡宮例祭は9月16日(金)に斎行する

\*宵宮祭は9月17日(土)に斎行する

\*氏子奉幣祭・第35回神輿合同宮入りは

9月18日(日)に斎行する

\*神輿神霊返し祭は9月19日(祝)に斎行する

## 第9回フォトコンテスト作品募集中 ~締め切りせまる~

大宮八幡宮の自然や祭典行事風景を、プロ、アマ問わず写真愛好家の方々の目で写し撮って、その作品を八幡大神様にご奉納頂き、今秋の大宮八幡祭り(秋の大祭)より展示します。ご参拝の皆様楽しんで頂きたく、第9回フォトコンテストを開催致しますので、皆様奮ってご応募頂きますようご案内申し上げます。

プロ・アマ・年齢不問  
小・中・高校の学生さんも歓迎!  
応募作品についての詳細は、社頭やホームページ上にてご確認ください。

協力写真店  
フォトグラフ三光堂(大宮八幡宮入口)  
カメラハウス本店(久我山)

締め切り日

令和4年7月31日

募集サイズ:  
2L・4ツ切サイズ

大宮八幡宮に関係した作品であれば、風景・人物・行事等テーマは自由です。(1人5点まで)



審査風景

但し、各神事での撮影禁止事項をお守り下さい。

※入賞作品の著作権は応募者本人に帰属しますが、使用权は主催者に帰属するものとし、展示や当宮の出版物・広報・インターネット等に無償で使用させていただきます。(※各媒体掲載時には、氏名のみを掲載させていただきます。)

### 過去8回の最優秀賞(宮司賞)入賞の作品



第1回 『当たれ!』 大野 貴義氏



第4回 『十五夜の神遊びで神様もお喜び!』 奥村 泰子氏



第7回 『明日へ』 小竹 秀雄氏



第2回 『祭りだワッショイ!』 大野 貴義氏



第5回 『後光さす八幡宮』 早川 幸子氏



第6回 『竹取りの物語り』 久保田 彬洋氏



第8回 『お父さん、コロナ退散するといいいね』 畠山 敏郎氏



第3回 『後押し』 杉園 幸司氏

# 初宮詣芳名(敬略)

(令和3年11月21日~令和4年3月20日)

お子様のお健やかな成長をお祈り致します

- 伊禮寿華 山内菜奈 跡部律月 菊池岳 時川与喜 長谷川結士 小川紬希 傳法谷咲葉 森保乃華 小山田莞太 袖山智葵 牛木羅人 巻口耀太 佐藤彩乃 南口穂羽 坂大巧磨 東山源 小林馨 神田睦実 佐藤旬 安倍和真 内藤英奈 松浦悠 松浦優里 小林蒼空 高梨暖大 山崎璃 熊野灯莉 奥山結月 藤原諒祐 清水知紗 大沼朝陽 安部桔平 小川大翔 清水淳希 中村百花 横田千秋 星野末椰 野口来心 今西晴輝 加藤早織
- 東海林奏良 大沼稜 渡邊いとか 大塚紗良 川崎菜央 漆原慶弥 菅野蓮 澤口礼 常陸玲佳 増田唯花 桐山朔 武田理沙 内野芽生未 樋口あんな 柳下陽向汰 早津英菜 菅原薫 寺島朋江 入江結月 石川拓実 福島兎維弦 野田一樹 加賀山樹央 大木音羽 丹野燈 稲葉貴悠 照屋史都 若狭龍志 大瀧翔生 杉尾優衣華 毎川八葉 佐藤楓華 前瓦來那 高原聡 井野口七海 齊藤蓮 大部蒼平 西澤仁 安川悠 高倉颯翔 鈴木琴葉 川端笑歌
- 岡部芙実 武藤ななみ 平塚悠真 藤原汐那 菊地奏乃 東原正真 須藤快 中山慶秋 吉田颯 加藤大晴 重松凜咲 安藤壮亮 砂塚惟大 高井善世 中川来渚 有馬光虹 三原弓菜 漆原慶弥 前田千梨花 日比野山翔 戸田千景 村田月袖 関口紋也人 久能わかな 大井椋月 岡元希帆 矢田隼椰 洪田怡椰 高橋立希 佐藤月緋 会田千紗 近藤永都 瑠璃川仁 丸山花 其田愛未 海老名叶夢 安藤楓仁 綾藤未久 森由紘 嵯峨楓 杉田愛梨 土橋隆
- 須原昇真 本郷朗都 小林蒼 高山依杜 岸谷颯太 石飛萌々菜 大澤未侑 伊藤楓凌 高橋のの子 谷川嵩 藤藤こ乃 高木美以和 田中香瑚 大熊慶 古澤吳典 西田葵 関根瑛人 一柳美玖 神林大穂 中村希風 森野秀 石田尾果怜 土田奏逢 高園比知加 渡邊晴南 丸山裕生 池田結花 田田汐凌 力石日向子 後藤建樹 仲山忠遼 日野健心 石井佑芽 島田結菜 北田遙大 綿貫楓花 野木杏奈 辻岡乃杏 高井音 森川健誠 太田唯月 今中すず 藤永航介 小川伊織 小島悠史 大崎蒼斗 片岡陸有 富塚瑠利 蓮尾美雨 内田橙真 相原滯
- 土橋奏太 原翔蒼 今晴矢 松村一颯 牧野結晴 中山翔真 三浦叶笑 平尾泰司 市谷隼 中村駿生 林宗寿 守田芽依 針谷乃蒼 岩瀬伊織 竹内ミマ 日暮優晴 泉瑛翔 林原周音 堀菜愛 田中泰斗 河西凌空 千葉あかり 錦織颯太郎 牛久保莉来 松村帆乃果 浅井陽向 野月繕 保坂凜 檀上菜月 遠田颯馬 前田開智 宮川愛香莉 渡辺凜久 佐々木海心 前幸地花來 石井佑芽 島田結菜 北田遙大 綿貫楓花 野木杏奈 辻岡乃杏 高井音 森川健誠 太田唯月 今中すず 藤永航介 小川伊織 小島悠史 大崎蒼斗 片岡陸有 富塚瑠利 蓮尾美雨 内田橙真 相原滯
- 内山楓介 山脇三葉 佐野百合子 三浦萌笑 三浦叶笑 平尾泰司 市谷隼 中村駿生 林宗寿 守田芽依 針谷乃蒼 岩瀬伊織 竹内ミマ 日暮優晴 泉瑛翔 林原周音 堀菜愛 田中泰斗 河西凌空 千葉あかり 錦織颯太郎 牛久保莉来 松村帆乃果 浅井陽向 野月繕 保坂凜 檀上菜月 遠田颯馬 前田開智 宮川愛香莉 渡辺凜久 佐々木海心 前幸地花來 石井佑芽 島田結菜 北田遙大 綿貫楓花 野木杏奈 辻岡乃杏 高井音 森川健誠 太田唯月 今中すず 藤永航介 小川伊織 小島悠史 大崎蒼斗 片岡陸有 富塚瑠利 蓮尾美雨 内田橙真 相原滯
- 中野武蔵 江口あかり 有山伶一綺 毛利日南 鈴木青治 高木草 田中廉 岡崎風紗 松本佳菜 森建人 中島衣都 土屋こ葉 松本慈 松本壘 渡邊たお 森田絢美 田中志実 柵山聡一郎 冲平惟吹 齋藤凜悠 橋田陽華 星絃莉 森根一柁 萩野結月 亀井彩愛 柳川絃理 小城伶理 石井蒼暉 岡村彩葉 金谷咲来 星瑛志郎 村田莉都 千葉夏夏 千葉友歌 七井莉音 古池詞音 山崎終青 山中瑛稀 柴田こは 河田伊織 渡部奏太 原詩葉 佐原花 大槻朔久 熊谷心桜 笠井丹心 増田瑛真

## とんがり通信

### 「卒園式」



春一番も吹き、やっと暖かくなってきたと思いきや、冬の寒さが戻ってきたそのような3月18日。第72回卒園式が執り行われました。この学年は入園式を始め、他の色々な行事も天候に恵まれないことが多かったのですが、晴れの卒園式当日は雨も降らず、みんなと並んで御社殿に行くことができました。とても寒い日でしたが、ハイソックス姿の子どもたちがベレー帽で必死に膝を隠して参列している姿はとても可愛らしく、おしゃべりをしたり、よそ見をしたりする子がいなかったのはさすが卒園児！しっかりと神様にご挨拶をすることができました。園に戻ってからは何回も練習をした保育証書授与式。元氣よく返事をし、レッドカーペットを堂々と歩いてくる子どもたちの姿はとても立派で、誇らしい気持ちになりました。

私自身、卒園児として大宮幼稚園の卒園式を経験していますが、今まで過ごしてきた保育室内での卒園式は様々な日常や行事などの保育が鮮烈に思い起こされて、いつもとは違った感動を覚えました。私の恩師も「卒園児が卒園児を送り出している姿を見られて嬉し

い。」「と言って下さり、なんだけか恩返しが出来たよな、少し照れくさいけれど嬉しい気持ちになりました。まだまだコロナ禍で大変な事も続きますが、今回初めて卒園児を送り出させて頂き、小さい頃からの夢が叶った瞬間でした。満足感と幸福感で満たされています。元氣よく巣立つて行った子どもたちの姿を見て寂しさもありますが、心がフワッと軽くなったような気がしています。この職業を目指し、大宮に戻ったような卒園式でした。

諸先生方、保護者の皆様、そして卒園児のみなさん、全ての方々のお陰で卒園という日を迎えることが出来ました。これから先、様々なことが起こるかとは思いますが、いつの日かまた会える日を楽しみに、いつまでもいつまでも応援しています。



教諭 安藤万智



# わかば祭り(春の大祭) 5月3日~5日



大宮八幡 植木市 [3日、4日]



第二日ノ儀 大宮八幡宮植樹祭 [4日]  
(みどりの会主催)



わかば祭り当日祭 [5日]  
(尚武祭)

感謝と祈りの心を大切に  
ご神縁に守られる 心豊かな毎日を

## 昇殿参拝のご案内

臨時の参列席を増設しています。  
適度な間隔を保って、ご家族一緒のご参拝ができます。

外拝殿の拡張



### ※コロナ対策ご協力のお願い

受付所には、窓口透明シートを設置致しております。  
受付後の検温にご協力ください。また昇殿前の手水は行わず、手指の消毒を以てこれに代えさせていただきます。  
多くの方が手を触れる玉串は使用せず、皆様にはご一緒にご拝礼頂きます。  
ご祈願祭後の清涼殿での直会はい行いませんので、ご神饌としてお渡しするご神酒を、ご自宅で拝戴ください。



大 宮 第123号  
令和4年春の大祭号

令和4年5月1日発行

## 大宮八幡宮社務所

〒168-8570  
東京都杉並区大宮2-3-1  
電話(3311)0105 FAX(3318)6100  
Mail: info@ohmiya-hachimangu.or.jp



大宮幼稚園  
第73回入園奉告祭・入園式  
(令和4年4月10日)